



はくい (HAKUI)

平成29年7月号(2017)

市議会だより

No.74

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

発行者／石川県羽咋市議会
編集者／市議会だより編集委員会
住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地
TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210
<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

- 一般質問…………… 2
- 各委員会報告…………… 6
- 市民の声…………… 8



「道の駅のと千里浜」竣工式

平成29年第3回定例会の概要

平成29年第3回羽咋市議会定例会が6月5日から6月21日までの17日間開催された。提出された議案は、平成29年度羽咋市一般会計補正予算案など議案4件、報告10件（採択を要しない報告4件を含む）。

初日の提案理由説明で山辺市長は、成果や将来性が見込まれる事業を中心に支援し、羽咋創生の本格的展開に取り組むと語った。

具体的には、「道の駅のと千里浜」を交流拠点の核として賑わいを創出するとともに、市民に愛される道の駅にしていくこと、自然栽培農産品の安定供給を目指すため、羽咋市農業参入支援センターを設置すること、ふるさと納税を財源として

市民提案型のまちづくり支援事業を創設することなどについて説明した。

6月13日の一般質問では8人の議員が質問に立ち、通学路の安全対策、ふるさと納税の活用、学校現場の時間外労働、羽咋創生、国道159号「羽咋道路」、道の駅の周辺整備などについて質問した。

最終日の採決では、平成29年度羽咋市一般会計予算など市長提出議案4件、報告6件を全会一致で原案のとおり可決、承認とした。請願1件は不採択とした。また、追加提出された市長提出議案の農業委員会委員の任命については12件とも同意した。



櫻井 英一 議員

児童・生徒の安全対策は 妥協なしで！



防犯灯の設置要望があった自転車道路

通学路の安全対策

【質問】 羽咋工業高校・羽咋高校とそれぞれのPTAが両校連名で、通学路である自転車道路における危険防止対策として、防犯灯の設置要望を県と市に提出した。生徒の安全・生命に関わる重要な要望であるが、これまで県とどのような協議がなされ、今後どう進めていくのか。

【答弁】 本市からも両校生徒や地域住民の安全確保を図るため、防犯灯設置の早急な対応をお願いした。県の見解では、要望区間が自転車道路という特殊事情もあり、防犯灯を設置するのは困難であるとの見解であった。このような現状を踏まえ、生徒の安全な通学を確保するにはどのような方策が取れるのか、県や学校関係者等との協議を深めていく必要があると考えている。

公共施設のトイレ洋式化

【質問】 高齢者や障害のある方など和式トイレが使用できない方々のためにも、トイレの洋式化を促進すべきである。市内公共施設における洋式化率は何%か。また、公共施設におけるトイレ洋式化整備計画を聞く。

【答弁】 洋式化率はおよそ53%である。昨年度は羽咋駅のトイレ改修の際に一部洋式便器を設置しており、今年度は羽咋運動公園で洋式トイレの整備を行う予定である。また、学校においては順次洋式化を進めているところであり、今年度も設置工事を予定している。

その他の質問

- ①「能登みらい農業はくい放送局」について
- ②若者世代によるまちづくりへの参画について



稲村 信成 議員

羽咋の活力源となる 国道415号を早期に！



道の駅と国道415号に期待

観光客と物流に貢献する国道415号線

【質問】 羽咋市から氷見市・富山市へと繋がる国道415号線の整備促進活動を強く求める。開通後は羽咋千里浜ICから能越道氷見ICが約15分となる。大型観光バスやトラックが一年中通行可能となり、経済活動に多大な貢献となる。また、大災害発生時の緊急避難道路となるため、県・国への強力な促進活動を求める。

【答弁】 国道415号線は、物流や交流人口拡大など観光・産業振興等の効果は大きい。県や関係5市との整備促進期成同盟活動を進めていく。

ふる里納税の活用を問う

【質問】 ①昨年の納税額、返礼品費除く実質額等を問う。②納税額の活用として、若いお母さん方より、教育関連に大きく活用を望む声がある。

【答弁】 ①納税総額2億2,500万円、返礼を除く実質1億300万円。活用は、地方創生事業、子育て応援券やデジタル教材、外国語指導業務、基金積み立てに活用する。

その他の質問

市民の健康寿命を延ばす政策について



浅野 俊二 議員

学校の先生の命を守れ!!



過酷な教育現場

長時間労働から先生を守り、笑顔ある学校を

【質問】 小学校教員で平均83.1時間、最高で155時間、中学校で124.5時間、最高で220.5時間という勤務実態が明らかになった。過労死の労災認定の目安の月80時間を超えており、極めて深刻な過重労働である。県内でも昨年小学校で会議中に先生が亡くなった。保護者からは「先生方が疲労困憊をしている状態は、子供達の教育にとってもよくない」。また、教員には時間外や36協定がない等、学校がブラック企業化している。今後さらに、外国語の早期化、教科化、特別教科、道徳教育の本格化が実施され、教職員は悲鳴。「中学教諭の6割が過労死ラインを上回っている」と文科大臣も述べている。抜本的な超勤の解消対策、まずは労働基準法の遵守と定数の改善、授業時間

の縮減、業務改善が急務だ。①時間外入力の一。②安全衛生委員会を50名以下でも準じてつくれ。③部活の軽減策。

【答弁】 ①出勤した時刻、退勤した時刻をそのまま入力する方式にし、休日の部活指導の時間も含め調査している。その結果を3ヶ月ごとに県に報告している。②法的義務はないが、国、県、他市町を見ながら検討する。③部活動の軽減策は外部指導により顧問がいなくても体制について県内の動向を見ながら検討する。部活動の休養日は、日曜日を基本に週1日設けるよう指導している。

その他の質問

- ①道の駅と周辺整備について
- ②市営住宅について
- ③今後の大型事業について



新田 義昭 議員

2000年の歴史、唐戸山神事相撲を日本遺産に



唐戸山神事相撲

羽咋創生事業を問う

【質問】 34項目の事業があり、自然栽培を生かした道の駅や、ふるさと納税を財源とした市民提案型まちづくり支援事業等がある。羽咋らしさをアピールするために①唐戸山神事相撲は、2000年の歴史があり、日本遺産に申請を。人気力士の砂像も作り、交流人口の拡大を。②農業の6次産業である自然栽培米の拡大や、価格と農地集積化を辻角副市長に問う。

【答弁】 ①日本遺産の認定をめざすには、唐戸山相撲場や神事相撲をはじめ、文化遺産群の総合的な価値と関連性の精査が必要であり、交流人口の拡大に向けた手段の一つとして、今後の検討課題にする。砂像も検討する。②羽咋市が取り組んで

いる自然栽培は、耕作面積も分散しており課題もある。自然環境の整ったところで集積化を図り、価格も羽咋市・JAはくい・生産者の3者で完売できるよう協議していく。

水防と災害対策を問う

【質問】 30年間、除去されていない邑知潟の推積土砂の除去を県や国に要望せよ。ゲリラ豪雨時には、市内数ヶ所で、土のう袋で浸水対策を行っており、順次、改善・改修しては。

【答弁】 県では、長曾川をはじめとする二級河川の推積土砂の除去を状況により行っている。河川改修や側溝改修を進めており、今後とも、関係機関等と連携を図り、県や国に強く要望していく。



中村 孝清 議員

地域産業道路の促進を



国道159号盛土工事

国道159号羽咋道路の進捗と今後の見通しは

【質問】 平成27年10月に着工を祝う会からスタートし、工事が着々と進められているが、予算獲得が大変厳しい状況であると聞いている。私達、羽咋市民の会が地域の実情や地方の切実な願いとして、一日も早い整備完成に向け、着実な事業の進捗がなされるようにと、金沢河川国道事務所を皮切りに国土交通省へ、予算措置の積極的な事業促進について要望活動をしてきた。その成果と今後の見通しを問う。

【答弁】 国道159号羽咋道路は、平成27年度に酒井町地内で着工し、平成28年度までに延長1キロメートルで盛土工事等が進められてきた。また、平成28年度2次補正に、本江町地内で延長

約500メートルの盛土工事が追加発注され、現在、工事が進められている。平成28年度以前の過去5年間の総事業費はおおよそ11億3,000万円であったが、平成29年度の当初予算は8億8,000万円となり、単年度ではこれまでで最高額の事業費となっている。これまでにない大きな事業費が確保されたことにより、より一層の事業推進がなされるものと期待しているところである。今年度事業の推進を図るため、富永地区の説明会が予定され、今後も、なお一層の事業費の確保がなされるよう、要望活動を行っていく。



松永 幸則 議員

市民の健康と安全安心は最重要課題



子どもたちの安全安心は特に最優先課題

健康ポイントの導入を

【質問】 健康づくりプログラムへの参加や健康診断の受診、健康状態の改善などの成果に対して、1ポイント1円に換算できる健康ポイントなどのインセンティブ（動機付け）は、健康寿命を延伸し、医療費を抑制する高い効果がある。ぜひ第一歩を踏み出していただきたいと考えるが、市長の見解、そして今後の見通しを。

【答弁】 健康寿命を延伸し、医療費を抑制するには、運動の推進は欠かせない重要な取り組みであると認識している。個人のインセンティブへの取り組みは、国の医療費の適正化に向けた取り組みの一つとして、国保保険者の評価指標として示されている。ポイント制など個人へのインセンティブ提供については、関係機関と協議し検討したい。

メール配信の迅速化、均一化を

【質問】 災害や不審者の出没等、明らかに緊急に

周知を要する事案が発生した場合、現在のやり方では情報の内容にどうしても差異が起り、また時間差も起こる。教育委員会において情報をデータ化し、それを各学校にメールした後に、今までのように電話連絡で確認を行えば、基本的な情報の差は無くなり、今よりスピーディーに配信できる。また、保育所・保育園・幼稚園においてもメール配信システムの導入を。

【答弁】 市内全校に関連し、かつ緊急性を求める事案であって、必要かつ適切と教育委員会が判断した情報については、統一的な内容を電子メール及び電話により各学校へ情報提供する。また、今後は保護者の理解を得ながらメール配信システムの導入を検討していく。

その他の質問

地場産業を活性化させるためのIoTやAI等のIT関連への取り組みについて



北川 真知子 議員

全ての教室にエアコン設置を



羽咋小学校

教室にエアコン設置を

【質問】 地球温暖化が進み気温が確実に上がっており、小中学校の教室にエアコンの設置が必要。順次エアコンの設置を求める。

【答弁】 小中学校の普通教室におけるエアコン設置は、余喜小学校2室、羽咋中学校14室、邑知中学校1室であり、全体の23%である。

未整備の教室は、空調設備の更新時に順次整備していく。

どうなるか。また、低所得世帯を重い負担で苦しめている均等割、平等割などの算定方式を見直せないか。特に子供に税金をかける均等割は無くすべき。

【答弁】 標準保険料率の算定は、現在、県と19市町で協議中である。本市の保険税は県内で1番低いことから、今後税率の引き上げを検討する必要がある。賦課方式も、協議の進展や他市町の動向も踏まえながら見直しを検討していく。子供の均等割は、財源の問題もあり、廃止することは困難。

国保税はどうなるか

【質問】 2018年4月から、都道府県が国保の保険者となり、市町村の国保行政を統括、監督する仕組みが導入される。県が納付金と標準的な保険税の算定方式を示し、市町村はこれを参考に国保税の賦課額を決める。県の試算では、市の国保税は

その他の質問

- ①「ヒバクシャ国際署名」について
- ②地域振興について
- ③介護保険制度、高齢者福祉について
- ④るんるんバスについて



浜名 等 議員

災害時には、自主防災組織の連携が必要！



スポーツを愛する子どもたち

自主防災組織連絡会の設立はいつ

【質問】 これまでに幾度も防災士会と自主防災組織連絡会の設立をお願いしている。それぞれの連絡会設立に向けての進捗状況と今後の予定について聞く。

【答弁】 防災士連絡会及び自主防災組織連絡会の設立総会を、7月中旬に開催できるよう準備を進めている。設立総会時には、先般見直しされた県津波浸水想定区域図の説明や最新の防災状況についての研修会も行なう。また、今年の10月には、自主防災組織の代表や防災士を対象とした、県内先進地の防災施設等の視察や研修会を企画している。

ニーズは多様化してきており、新たな部活動の設置を求める声がある。このような課題の対応策として市内の中学校を全体として考え、新しい枠組みを作ることにより、指導者の減少や負担の軽減、練習場所の合理化を図り、新たな部活動を設けるなど、生徒が希望する部活動のニーズに幅広く応えることはできないか。

【答弁】 部活動の設置、運営については学校長の管理運営事項であるが、生徒数減少が進む現状においては、新しい部活動を設けることは難しいと考えている。また、市内、市外を問わず、合同練習となると生徒の移動手段や移動時間等の問題があり、現実的にも難しいと考えている。

子どもたちに、希望するスポーツ活動の場を

【質問】 近年、小中学生のスポーツ活動の個人

その他の質問

道の駅「のと千里浜」の周辺整備について

予算常任委員会報告

◎山本 泰夫 ○松永 幸則 浜名 等 北川真知子
寺井 哲也 櫻井 英一 稲村 信成 大塚 幸男
新田 義昭 高田 甚哉 塩谷 久司 中村 重幸
中村 孝清 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第29号「平成29年度羽咋市一般会計補正予算」など議案2件及び報告6件。6月14日に委員会を開催し審査した。

その結果、「平成29年度羽咋市一般会計補正予算」など議案2件及び報告6件については、いずれも全会一致をもって原案のとおり可決・承認した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 コミュニティ助成事業については、各町会からの要望が多い事業だが、現在いくつの町会が要望していて、年間に助成決定を受けるのは何件か。

【答弁】 現在、11町会が要望している。近年では平成29年度は2件申請し1件、平成28年度は3件申請し1件が助成決定されている。申請件数を増やすことなど、県に問い合わせながら、要望のある町会に対して申請時期を周知していきたい。

【質問】 東京のアンテナショップに対する委託料は。

【答弁】 移住定住の相談及び情報の受発信について委託契約をしており、年間30万円に消費税を加えたものと、相談により移住が決まれば2万円を、また、体験住宅の利用が決まれば5千円にそれぞれ消費税を加えたものを成功報酬として支払う契約になっている。

【質問】 移住定住推進事業で、移住者向けの広告の内容と、他自治体との差別化をどのように図るのか。

【答弁】 本市では、農業に関しての移住相談が多いことから、広告の中に自然栽培などを含めた情報発信を行い、移住定住の促進につなげたい。

その他、永光寺周辺の水飲み場の整備について、農業支援センター設置の周知などについての質疑・答弁がされた。

総務民生常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○中村 孝清 松永 幸則 浜名 等
新田 義昭 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第31号「町の区域の変更及び字の名称の変更について」、及び請願1件。6月15日に委員会を開催し審査した。

その結果、議案1件については、全会一致で原案のとおり可決した。また、請願1件については、賛成無しにより不採択とした。

審査過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 区域の変更及び字の名称の変更について。権利者の土地の集積に対する町の区域の変更なのか。

【答弁】 新たなほ場の形状に合わせた3町の字変更である。権利者の土地を集積することで、地番の数も少なくなり分かりやすくなっている。

その他、市有地の駐車料金徴収について、平成28年度補正予算の市債の減額補正についての質疑・質問がされた。

産業文教常任委員会報告

◎寺井 哲也 ○高田 甚哉 北川 真知子
稲村 信成 塩谷 久司 中村 重幸 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第32号「石川県市町村消防賞じゅつ金組規約の変更について」の議案1件。6月16日に委員会を開催し審査した。

その結果、議案1件については、全会一致をもって原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 羽咋まちづくり株式会社の経営状況における「道の駅のと千里浜」のパート職員の採用と今後の見通しはどうか。

【答弁】 現在20名の採用が決定しているが、勤務のローテーションのことを考慮すると30名は必要だと考えており、継続して募集している。オープン当初は混雑が予想されるので、不足する人員については、市職員の応援や派遣会社の活用等を予定している。

その他、津波の防災対策、海岸のゴミ漂着における対応、邑知の郷公園の市民農園についての質疑・質問がされた。

平成29年 第2回定例会 6月議会

平成29年度一般会計補正予算、平成29年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算、その他議案14件、報告6件の合計20件を原案のとおり可決、同意、承認した。

■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
市長提出議案第29号	平成29年度羽咋市一般会計補正予算(第1号)	可決
市長提出議案第30号	平成29年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
市長提出議案第31号	町の区域の変更及び字の名称の変更について	可決
市長提出議案第32号	石川縣市町村消防賞じゅつ金組合同規約の変更について	可決
市長提出議案第33号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第34号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第35号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第36号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第37号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第38号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第39号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第40号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第41号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第42号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第43号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第44号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出報告第7号	平成28年度羽咋市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第8号	平成28年度羽咋市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第9号	平成28年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第10号	平成28年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第11号	平成28年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第12号	平成28年度羽咋市千里浜財産区特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について	承認

■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

議案名	松永幸則	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	高田甚哉	塩谷久司	中村重幸	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
	請願第1号 「テロ等準備罪」の創設に反対する意見書の提出を求める請願	×	×	○	×	×	×	議長は採決に加わりません	×	×	×	×	×	×	

●●● 市民の声 ●●●

健康づくりの推進を

Y.H 千里浜地区・男性・60代

当市の健康都市宣言は、平成13年に制定されました。今それらの実践活動の一環として、バモスはくいスポーツクラブは毎年7月20日～8月末まで毎日、羽咋小学校校庭でラジオ体操をやっており、今年で3年目に入るそうです。

市の職員や議員さんがそれらに積極的に参加して、健康づくりの機運を高めることも重要だと思いますが、呼びかけても参加がないと聞きます。せめて土日の朝だけでも参加して健康運動としてラジオ体操会を盛り上げて欲しいと思います。

通学路の安全対策を願う

S.Y 羽咋地区・男性・40代

羽咋工業高校と羽咋高校PTAから出されていた通学路である自転車道路の防犯灯設置要望の質問に対して、石川県からは「防犯灯設置は困難」との回答だと聞いた。これには失望した。何か事件が起こらないと行政は動かないのか。生徒の安全、県民の命を守るのが行政の使命ではないのか。質問した議員さんからは、これからも粘り強く要望していくと言われたが、生徒・保護者にとっては切実な願いだということ、石川県や羽咋市に理解してもらいたい。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対する感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は9月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成29年6月議会の会議録は、9月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

7月7日に「道の駅 のと千里浜」がオープンしました。直売所では、自然栽培米をはじめとする地元の農作物や加工品を数多く取り揃え、レストランでは地元の食材を中心に、野菜から煮出した出汁を利用したカレーやパスタなど、羽咋らしい特色あるメニューを提供していきます。さらには、本市の観光情報の発信も行ってまいります。本市の新たな観光交流拠点である「道の駅 のと千里浜」を市民みんなで盛り上げていきましょう。
(櫻井 英一)

市議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	浜名 等
副委員長	北川真知子
委員	松永 幸則
	寺井 哲也
	櫻井 英一